

今年度が始まって2か月が経とうとしています。始めは緊張もあったお子様も socio の生活にも慣れ、普段の姿を出してくれるようになりました。中には思いが通らない時やイメージ通りに進まない時に大声で泣いたり、叫んだりするお子様もいます。そんな話を聞くと「療育に来ているのにどうして崩れるの?」と不安に思う方もおられると思います。でも、崩れた時こそが望ましい言動を知る機会であり、行動をコントロールする練習のチャンスとなるのです。「転ばぬ先の杖」として崩れさせないようにしていても練習にはならないので、崩れた時こそどう対応していくかを大切に、望ましい行動を知る学びの場となるように取り組んでいます。

## 【望ましい行動を知らせる時の伝え方の例】

例えば、片づけをしないで遊びに行こうとする場合だと・・・

### ①すべきこと具体的に



×「おもちゃを出しっぱなしにしません!」

○「おもちゃをこの箱に片づけます」

### ②肯定的な言い方で見通しを



×「片づけをしないと外に遊びにいけないよ」

○「片づけをしたら外に遊びにいこう」

## STAR ディフューザー資格を取得しました

4月中に藤本が、5月中に廣戸・西村・木原・兒玉・清水が STAR (一般社団法人スポーツリズムトレーニング協会) ディフューザー資格を取得し、児童発達支援の専属スタッフ全員が同資格の有資格者となりました。

資格取得講座で学んだ知識とスキルを活かして、socio で行う運動療育を身のあるものにしていきたいと思っています。